



D-54

<施設の概要>

所在地：京都府京都市下京区烏丸通塩小路下ル東塩小路町
敷地面積：38,000㎡
建築面積：32,350㎡
延床面積：237,682㎡
規模構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 / 地下3階、地上16階
建築設計：原廣司(株)アトリエ・ファイ建築研究所

ホテル内装：(株)山下設計
(ホテル2階ロビー・3階ホワイエ・教会のみ：原廣司+アトリエ・ファイ建築研究所)
施工：京都駅ビル建設工事企業体(大林組・鉄建建設・大鉄工業・フルーアダニエルジャパン・公成建設)
工期：平成3年12月(一部)・平成7年3月(全面)～平成9年7月

心地よく新鮮な明かりが最先端の複合機能ターミナルビルに輝きを添える

A pleasant and fresh lighting adds brightness to the most advanced multi-function terminal station building

機能毎に配慮の行き届いた照明設備を配置して、さらなる新しさを生み出す。

Placement of well-considered lighting equipment according to respective functions of the facilities, will produce new atmosphere in its diversity

平安建都1200年を記念して建設された新京都駅ビルは、大空間における利用者の動線を考慮したV字に延びるすり鉢状の建物で、JR駅舎としては国内最大規模を誇り、文化・商業・ホテル・広場・通路・駐車場の6つの施設からなる複合機能ターミナルビルです。

駅舎の照明設備は、行き交う人への心地よい視環境の提供をコンセプトとしています。烏丸中央改札口の天井(高さ14m)には250W HID埋込ダウンライトを16台設置(平均照度200lx)、南北自由通路改札口周辺には天井のアールに沿ってFL40W埋込器具開放形をライン配置し、いずれも新鮮な雰囲気を出しています。

「ホテルグランヴィア京都」は建物東側に位置した16階建てで、5階中宴会場の照明設備は、シーンに応じた華やかな演出をコンセプトとしています。730㎡の広さを使用用途に応じてパーティションで3分割が可能です。逆ピラミッド形のきらめきのあるシャンデリアを36台設置し、折り上げ天井内のRGB調光照明により様々なシーン演出を行います。

照明コンセプト

Lighting design concept

最先端の複合機能ターミナルビルにふさわしい新しさのある照明空間

利用者への心地よい視環境の提供



橋上駅自由通路 天井のなだらかなアームに則した照明配置で、ゼブラ模様の光のパターンをつくり出している。
Free bridge passage of the station

D-55



JR切符売場(烏丸出口) JR ticket windows (Karasuma exit) 格子模様に建築意匠した天井にネオアークビームがアクセントをつけている。

D-56

D-58



「ホテルグランヴィア京都」の中宴会場「古今の間」 A medium-sized banquet hall "Kokon no Ma" in the Hotel Granvia Kyoto 12V20Wハロゲンランプ28灯のシャンデリア。RGB調光照明により様々な演出が可能。

D-57

D-59



烏丸中央改札口 特徴的な建築意匠に融合配置されたHIDダウンライト Karasuma Chuo ticket gates

D-60



航空障害灯

D-61

主要照明器具一覧

設置場所	器具名	台数	ランプ
烏丸中央改札口	HID埋込ダウンライト	16	250W水銀ランプ×1
橋上駅自由通路	蛍光灯直付型器具	112	110W蛍光ランプ×1
駐車場連絡通路	フットライト	8	27Wユーライン×1
	軒下用シーリングダウンライト	9	100Wビームランプ×1
JR切符売場(出札ロビー)	軒下用シーリングダウンライト	38	70Wネオアークビーム×1